

スーパーマーケット景気動向調査

2019年8月調査結果（7月実績）
（2019年8月21日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会
一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会

8月調査（7月実績）結果概況

景気判断DIは現状・見通しともに大幅な悪化

7月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI現状判断は、前月から-5.7の38.1、見通し判断は前月から-4.6の37.0となり、共に大幅に悪化し、現状判断DIは過去最低を記録した。

経営動向調査では、売上高DI、収益DI共に大きなマイナスとなった。前年との梅雨時期がずれたことによる影響で夏物商材を中心に不振となったことで客単価DIがマイナス、降雨の日が多かったことや日曜日が一日少ない曜日巡りにより、来客数DIがマイナス幅を拡大したことが影響している。

カテゴリー動向調査では、前年猛暑との反動で夏物商材不振の影響は大きく、惣菜DIを除き、DIは二桁のマイナスを記録した。果物類不振の影響を受けた青果DIや、外気温の影響が大きい日配DIや飲料不振の影響を受けた一般食品DIのマイナス幅が多くなっている。（カテゴリー動向については最終ページに詳細を掲載）

景況感調査はいずれのDIも悪化をみせており、なかでも中核店舗景気判断DIの悪化幅が大きい。長期傾向でも、はっきりと下向きのトレンドになっている。（長期傾向についてはp11参照）

前年が猛暑となり夏物商材が好調となった反動も加わり、7月は売上だけでなく、マインドも大幅に悪化する結果となった。近年は、天候などの外的要因の不確実性が高まっているが、夏に気温が低下した際の消費者の食品購入状況を分析して対応した店舗もみられた。気温の低下により、家庭内調理機会が増加することを見越し、調味料の販促を強化して売上を確保した例もみられた。消費税率引き上げを控え、消費にも不安が高まるなかで、天候要因をプラス転換につなげる取り組みが求められる。

景況感調査

現状判断

景気判断DI 当月： 38.1 (-5.7) 前月：43.8	消費者購買意欲DI 当月： 40.2 (-2.9) 前月：43.1	周辺地域 競合状況DI 当月： 38.6 (-1.5) 前月：40.1	店舗周辺地域 景気判断DI 当月： 42.3 (-2.2) 前月：44.5
--	---	---	---

見通し判断

景気判断DI 当月： 37.0 (-4.6) 前月：41.6	消費者購買意欲DI 当月： 39.6 (-2.6) 前月：42.2	周辺地域 競合状況DI 当月： 38.3 (-1.1) 前月：39.4	店舗周辺地域 景気判断DI 当月： 41.1 (-2.6) 前月：43.7
--	---	---	---

経営動向調査 経営状況

売上高DI 当月： -23.5 (-16.2) 前月：-7.3	客単価DI 当月： -7.4 (-7.4) 前月：0.0	来客数DI 当月： -19.4 (-9.2) 前月：-10.2	
収益DI 当月： -18.1 (-13.9) 前月：-4.2	販売価格DI 当月： 1.7 (-2.2) 前月：3.9	生鮮品仕入原価DI 当月： 0.2 (-1.9) 前月：2.1	食品仕入原価DI 当月： 2.8 (-2.0) 前月：4.8

カテゴリー動向

青果DI 当月： -21.5 (-19.0) 前月：-2.5	水産DI 当月： -11.0 (-10.7) 前月：-0.3	畜産DI 当月： -15.3 (-7.5) 前月：-7.8	
惣菜DI 当月： -7.0 (-10.6) 前月：3.6	日配DI 当月： -21.5 (-17.0) 前月：-4.5	一般食品DI 当月： -23.9 (-15.0) 前月：-8.9	非食品DI 当月： -15.7 (-5.9) 前月：-9.8

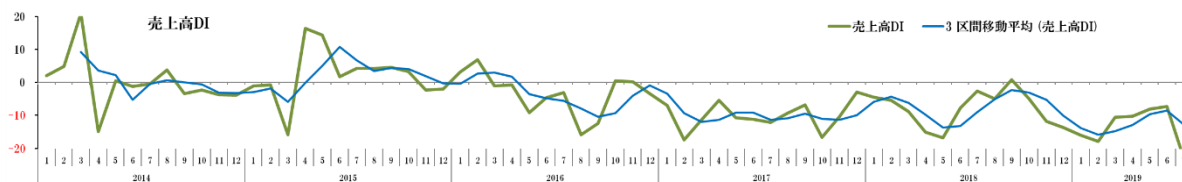
※DI値は前年同月との比較／○内は前月DIからの変化

結果詳細 I. 経営動向調査 (2014年1月～)

1. 売上高DI

大幅なマイナスとなり、2011年4月の調査開始以来の最小値を記録

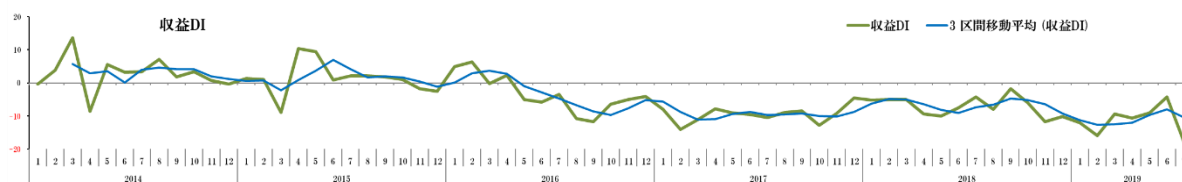
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高 (前月)	9.9	35.6	29.8	23.0	1.6	-7.3
売上高 (当月)	28.9	46.4	15.7	7.8	1.2	-23.5



2. 収益DI

大幅なマイナスとなり、調査開始以来の最小水準まで低下

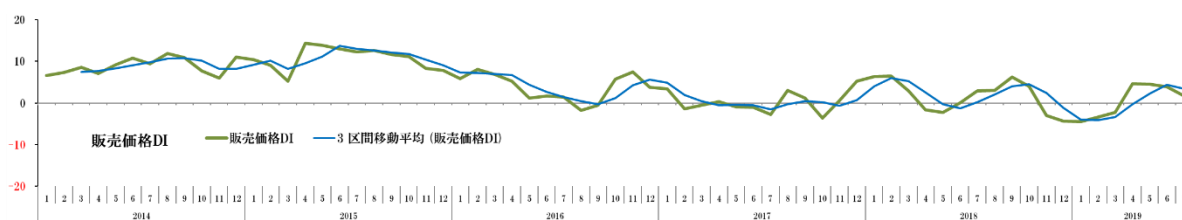
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益 (前月)	7.4	33.3	34.4	18.5	6.3	-4.2
収益 (当月)	19.6	47.2	20.2	11.7	1.2	-18.1



3. 販売価格DI

わずかながらプラス水準を維持

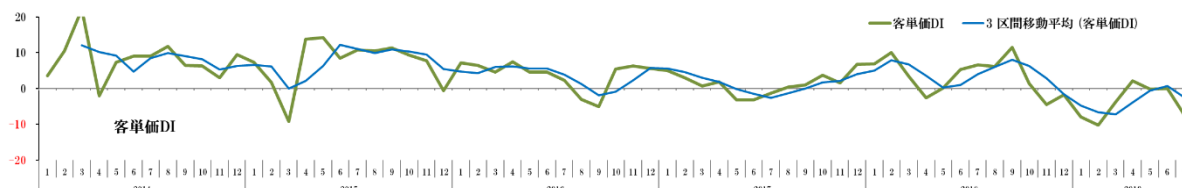
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	0.0	12.6	59.7	27.2	0.5	3.9
販売価格 (当月)	1.2	15.9	57.9	25.0	0.0	1.7



4. 客単価DI

当月低下し再びマイナス圏

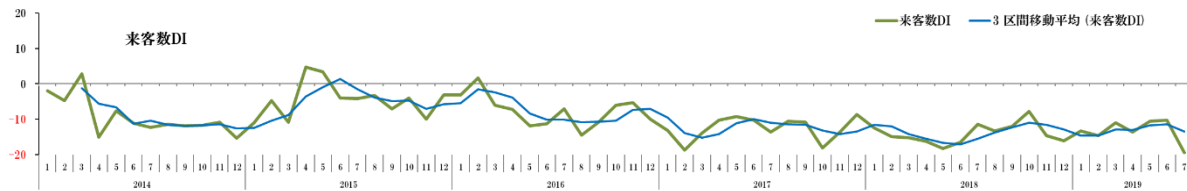
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	1.6	25.3	44.7	28.4	0.0	0.0
客単価 (当月)	2.4	39.8	42.8	15.1	0.0	-7.4



5. 来客数 DI

当月マイナス幅を拡大し、二桁水準での低迷が続く

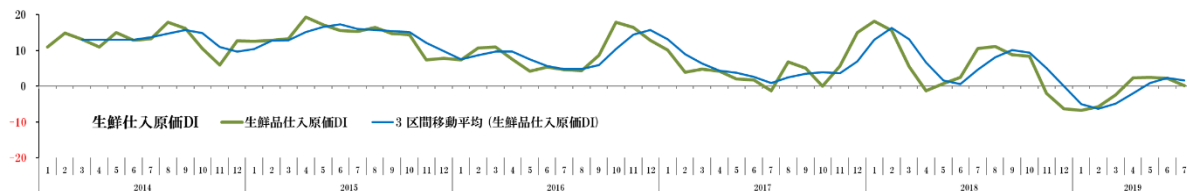
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	9.4	41.4	31.4	16.2	1.6	-10.2
来客数 (当月)	20.5	47.0	22.9	9.0	0.6	-19.4



6. 生鮮仕入原価 DI

プラス幅縮小も、4か月連続でプラス圏を維持

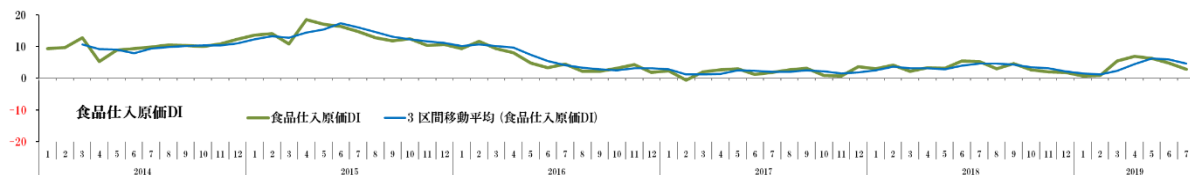
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	2.1	13.8	58.0	25.5	0.5	2.1
生鮮仕入原価 (当月)	4.3	19.1	48.8	27.2	0.6	0.2



7. 食品仕入原価 DI

プラス圏で底堅い推移が続く

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	2.6	13.2	48.1	34.4	1.6	4.8
食品仕入原価 (当月)	5.5	13.5	45.4	35.6	0.0	2.8

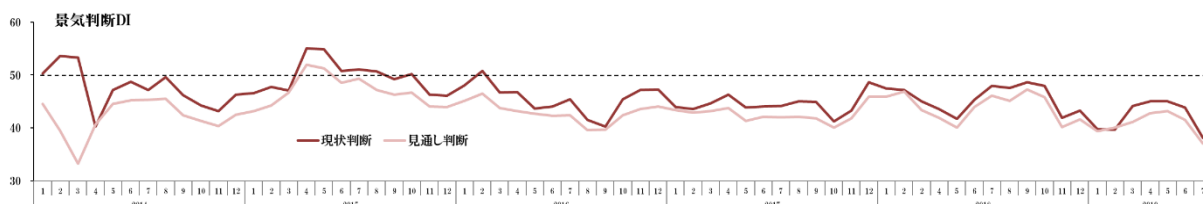


II. 景況感調査 (2014年4月～/周辺地域景況判断 2010年4月～)

1. 中核店舗景況判断 DI

現状、見通しとも大幅に悪化し、現状判断は2011年4月の調査開始以来最低値を更新

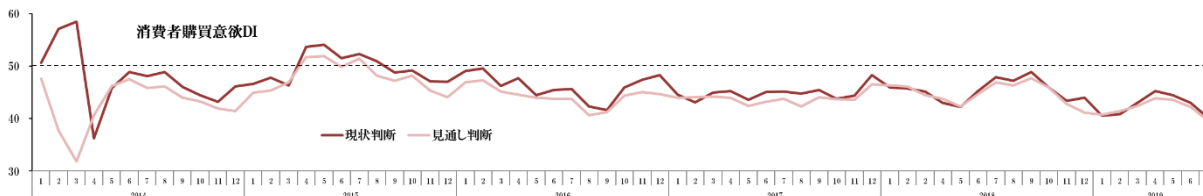
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景況判断 (前月)	3.7	26.2	61.3	8.9	0.0	43.8
【現状】景況判断 (当月)	6.0	40.4	48.8	4.8	0.0	38.1
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景況判断 (前月)	5.8	30.0	56.3	7.9	0.0	41.6
【見通し】景況判断 (当月)	9.6	36.7	49.4	4.2	0.0	37.0



2. 消費者購買意欲 DI

現状、見通しともに悪化をみせる

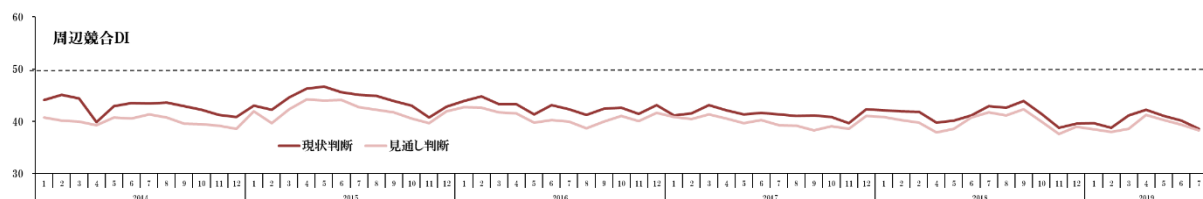
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	2.6	29.3	61.3	6.8	0.0	43.1
【現状】購買意欲 (当月)	2.4	39.2	53.6	4.8	0.0	40.2
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	3.2	30.5	60.5	5.8	0.0	42.2
【見通し】購買意欲 (当月)	3.6	38.0	54.8	3.6	0.0	39.6



3. 中核店舗周辺競合状況 DI

現状、見通しとも小幅に悪化をみせる

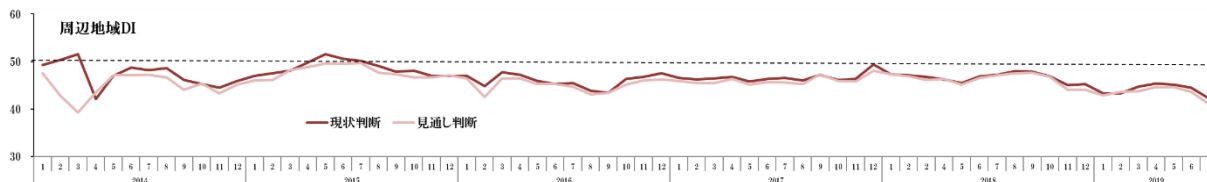
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	6.8	29.5	60.0	3.7	0.0	40.1
【現状】競合状況 (当月)	7.2	33.7	56.6	2.4	0.0	38.6
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	7.9	29.6	59.3	3.2	0.0	39.4
【見通し】競合状況 (当月)	8.4	32.5	56.6	2.4	0.0	38.3



4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

現状、見通しともに悪化をみせる

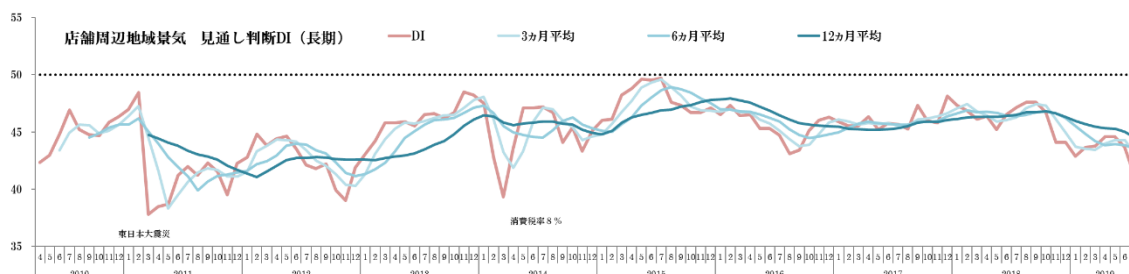
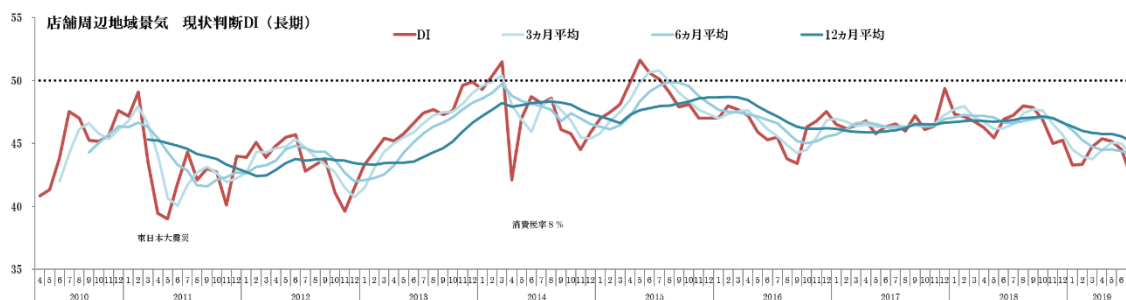
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気 (前月)	1.0	21.5	75.9	1.6	0.0	44.5
【現状】地域景気 (当月)	1.2	30.3	66.7	1.8	0.0	42.3
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気 (前月)	1.1	24.7	72.6	1.6	0.0	43.7
【見通し】地域景気 (当月)	2.4	32.1	64.2	1.2	0.0	41.1



・中核店舗周辺地域景気判断DI 長期傾向 (2010年4月～)

周辺地域景気判断DIは、2011年3月の東日本大震災以降低迷を続けていたが、12年11月から16ヵ月にわたる改善が続き、14年3月には現状判断DIが51.5を記録した。14年4月の消費税率8%への引き上げにより、大幅に悪化したものの、その後徐々に持直しをみせ、2015年5月には現状判断DIは51.6にまで達し、調査開始以来の最高値を更新した。

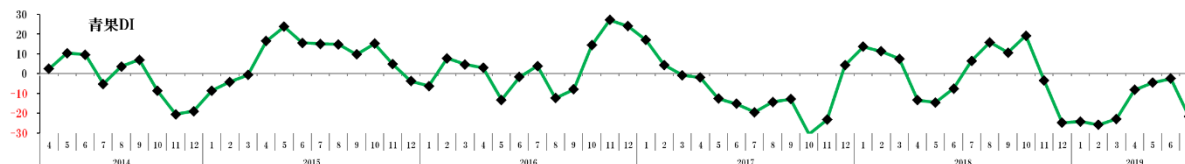
しかしこれをピークに、その後15ヵ月間にわたり悪化傾向が続き16年9月には、現状判断DIは43.4まで低迷した。以後方向感の乏しい推移が続いていたが、18年の後半から悪化傾向が顕著となり、徐々にその水準を切り下げており、19年7月には現状判断DIは42.3まで低下した。



Ⅲ. カテゴリー別動向

1. 青果DI：-21.5（かなり不調）

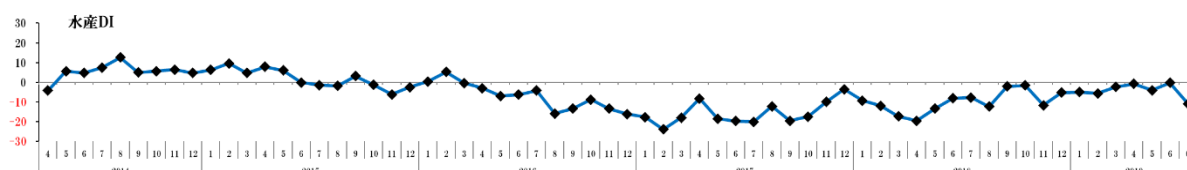
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果（前月）	8.3	31.1	27.2	28.9	4.4	-2.5
青果（当月）	25.8	44.7	20.1	8.8	0.6	-21.5



前年の猛暑から一転して気温が低く、レタスやトマトなどのサラダ類が不調となったほか、ネギなどの薬味用野菜も動きが悪かった。前年豪雨により相場が高騰した野菜には単価下落の影響もみられた。相場の安定している土物や菌茸類は伸長した店舗もみられた。果物類は、特に落ち込みが大きく、前年好調とのスイカが不調で、桃やブドウも前年より出荷が遅れ、天候により品質も悪く不調であり、カットフルーツも動きが悪かった。

2. 水産DI：-11.0（不調）

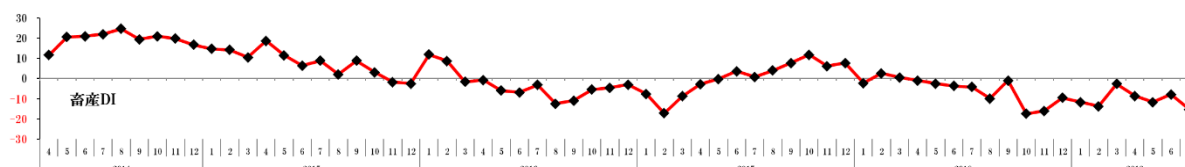
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産（前月）	6.1	26.5	36.5	24.3	6.6	-0.3
水産（当月）	12.6	39.6	29.6	15.7	2.5	-11.0



27日の土用の丑はうなぎの高騰や天候要因、資源保護意識の高まりで苦戦したとのコメントが多いが、予約販売を行い収益が改善した店舗もみられた。気温が上がらず、焼物や煮物の需要が高まり、切り身や干し物などの動きがよくなった。一方でまぐろを中心に刺身類は伸び悩んだ店舗が多かった。地魚や生魚の売り込み強化やイベント、催事の実施が成果をあげているとのコメントもみられた。

3. 畜産DI：-15.3（不調）

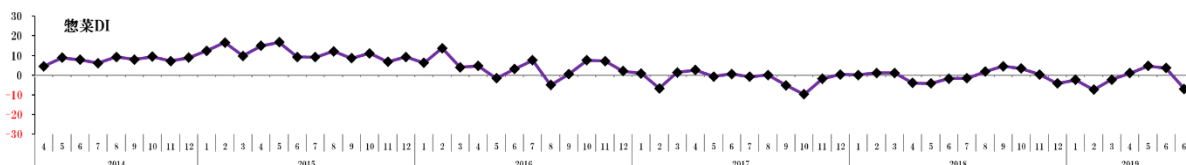
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産（前月）	12.6	34.1	28.6	21.4	3.3	-7.8
畜産（当月）	20.1	35.8	29.6	13.8	0.6	-15.3



前年より低い気温や日曜日が一回少ない日曜めぐりの影響を受け、総じて低迷した。国産牛肉は価格が高騰しているため、輸入牛の動きがよかった。低温の影響かステーキ・焼肉用の動きが悪かった。国産豚肉は豚コレラの影響を受け相場が高騰し単価が上昇したものの、前年との気温差により冷しゃぶ用や生姜焼き用が伸びなかった。鶏肉は相場安で、販促を強化して好調となった店舗が多い。ハムを中心に加工肉は不調とする店舗が多い。

4. 惣菜DI：-7.0（やや不調）

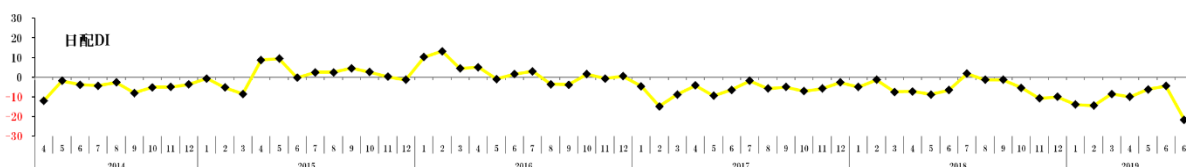
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	3.9	21.2	39.7	26.8	8.4	3.6
惣菜（当月）	9.6	34.4	35.7	15.3	5.1	-7.0



降雨による夕方以降の来客数減の影響を受けたほか、天候要因により米飯類、寿司類、麺類などの動きが悪かった。前年比較では中華惣菜や揚げ物、サラダ類は好調となった。土用の丑はウナギ価格高騰、資源保護意識の高まりにより前年並みかそれ以下にとどまった店舗が多い。新メニュー開発などが成果をあげている店舗もみられた。

5. 日配DI：-21.5（かなり不調）

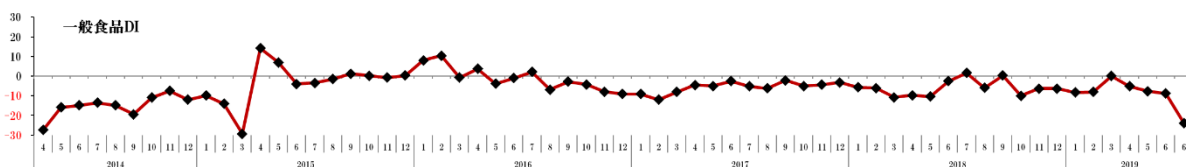
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	7.8	32.4	31.8	25.7	2.2	-4.5
日配（当月）	29.6	35.8	26.4	7.5	0.6	-21.5



前年より気温が低い影響で、アイスや飲料、チルド麺類などの涼味商材を中心に苦戦。漬物、こんにゃく、ところてんなど日配も不調となった。一方で価格改定のあったヨーグルトや、暑さの影響を受けやすいパン類などは好調となった店舗もみられた。健康志向の高い豆乳など動きはよいが、熱中症対策として前年特需のあった梅干しや、豪雨により買い置き需要が発生し、冷凍食品に反動減がみられた店舗もあった。他業態との価格競争や天候にあわせた発注を課題にあげるコメントもみられた。

6. 一般食品：-23.9（かなり不調）

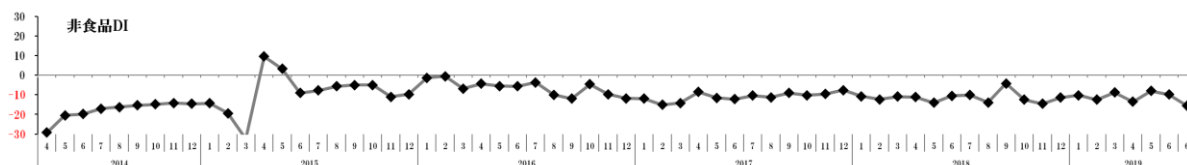
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	9.3	36.1	37.7	14.8	2.2	-8.9
一般食品（当月）	31.6	38.0	25.3	4.4	0.6	-23.9



前年との気温差により、そうめん関連などの涼味商材、飲料類や酒類は大きく売上を落とした。熱中症対策関連商品も反動減が大きくなった。反対に暑いと動きが鈍る菓子類やコーヒー類は、前年を上回った。新製品の登場が続いているインスタント麺類は好調となった店舗が多い。米類は価格競争が厳しく伸び悩んだ。気温が上がらず家庭内で調理する機運が高まったためか、油や調味料を好調にあげるコメントもみられた。ドラッグストアなどとの価格競争を指摘するコメントがみられた。

7. 非食品 DI：-15.7（不調）

回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	14.2	30.1	38.6	14.8	2.3	-9.8
非食品（当月）	21.3	34.0	32.7	10.0	2.0	-15.7



品薄状態となっている紙類は、欠品による売上低下を起こす店舗がみられた。夏物商材の殺虫剤・虫ケア用品や熱中症対策商品も動きが悪かった。電子タバコの売上が堅調とのコメントがみられた。

ホームセンターやドラッグストアなどの競合が厳しく、構成比を低下させている店舗も増えており、低迷が続いている。

カテゴリー別 DI による好不調判断

かなり好調：～ 20 好調：20 ～ 10 やや好調：10 ～ 0
 やや不調：0 ～ -10 不調：-10 ～ -20 かなり不調：-20～

2019年8月調査（7月実績）キーワード TOP3

1. 梅雨時期のズレ、長梅雨（夏物・涼味の不調、販促のズレ）
2. 日曜日が一日少ない
3. 来客数減

（参考）2018年8月調査（7月実績）キーワード TOP3

1. 中旬以降青果相場高騰
2. 天候要因（豪雨・猛暑）
3. 土曜日が一日少ない

スーパーマーケット景気動向調査 集計数

7月実績速報版 166社
 6月実績確報版 191社

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 tokei@super.or.jp